

中学受験スタートブック

WILLナビ 中学受験 GUIDE

FREE
無料

ここから始まる！
**中学受験
2025**

私立中高一貫校からMessage

慶應義塾普通部
桜蔭中学校高等学校

2025年度 中学入試分析

●教科別 出題傾向分析
算数・国語・理科・社会
協力：SAPIX小学部

進化する私学—どう変わる？ どう選ぶ？

協力：森上教育研究所
●注目校ガイド

安田先生から学ぶ これからの子育て

協力：安田教育研究所
●School Report
男子校・女子校・共学校





新たな教育実践に挑戦！

教員の関わり方を見直し 生徒の自律的な行動を促す



5つの非認知型智力を掲げ、状況の変化に対応できる力を育成

1909年の創立以来、「機に応じて活動できる女性の育成」を建学の精神に掲げ、きめ細かな教育を実践している中村中学校・高等学校。知識を重視する認知型学力だけでなく、考え抜く力や行動し続ける力などの非認知型智力や、それらの土台となるEQ（心の知能指数）を伸ばす教育に特色がある。その基本的な考え方について遠藤行巳校長に伺った。

明確な教育目標のもと 意識改革や環境整備に取り組む

中村中学校・高等学校は4年後の創立120周年に向け、建学の精神や校訓、生活目標などを現代に合わせて再定義し、5C（ファイブカラット）を持ち合わせた女性の育成」というスクールミッションを策定した。5CはCommunication（対話）、Care（親切）、Commitment（自発）、Challenge（挑戦）、Curiosity（探究）の頭文字を意味する。これら5つのスキルは、建学の精神がめざす「機に応じて活動できる女性」が持つべき力を具現化したものといえる。

さらに、持続可能な社会の担い手を育てるという学校教育の目的に鑑み、遠藤校長は3つの教育目標を掲げている。すなわち「自ら学ぶことの大切さを知り、思慮に富み、正当な批評力・判断力と行動力を有する女性の育成」「未来社会で他者との関係性を構築すること

ができ、グローバル公共性を創出する女性の育成」「自他の存在と命を尊重する人権意識を有する女性の

育成」だ。

このように中村の教育は、建学の精神をはじめスクールミッションや教育目標など、様々な言葉で表現されるが、遠藤校長によれば、その意味するところは3つに集約できるという。

「根幹をなす考え方は“自律”です。『自律型学習』『自律型行動』、そして『やさしい心』の3つを大切にしたいと考えています。自律型学習のためには、教員の意識を『教える』から『学びが駆動するきっかけを与える』へと変えていく必要がありますし、自律型行動のベースには見聞きしたものや考えのアウトプットがあるはず。ときには相手に厳しいことを伝えることも本当の意味でやさしい心だといえるでしょう。この3つを意識しながら、これまで以上に教員の意識改革や教育環境の整備に力を注いでいくつもりです」

フラットな教員組織により 教育のベクトルを合わせる

その上で、教育実践においては「シチズンシップ教育」「ダイバーシティ教育」「ディープアクティブラーニング」「ASTAR学習法」の4つを意識していくと遠藤校長は話す。

「最初の2つは、これから社会に出て行く生徒にとっては必須の視点であり、

「5Cを持ち合わせた女性」の育成 ～新たなスクールミッション～



とても大切なことだと思っています」

ディープアクティブラーニングは、表面的な学習に陥りやすいアクティブラーニングに深みを持たせる教育方法であり、ASTAR学習法はユダヤの学び方とされているもので、ノートを取り方から、学んだことを人に教える、実践を繰り返すなどの手法からなる。

「これら4つの教育実践を教員と共有し、フラットな教員組織を通して学校全体のベクトルを合わせていきたいと考えています。きめ細かな教育という中村の原点を守りつつ、質的な高みをめざして努力していくつもりです」



校長
遠藤 行巳 先生

中村中学校・高等学校

東京都江東区清澄2-3-15
TEL.03-3642-8041
nakamura.ed.jp

